

# うしおえ

潮江小学校だより 第3号  
令和5年4月18日  
文責 藤川 尚司

## 給食準備の一コマ



給食準備もよい習慣が育っています。潮江小学校の伝統を受け継いで、子どもたちはとても静かに給食配膳室から教室へ、学級の給食を運んでいきます。ごはんケース、食器、お盆、牛乳…と、当番さんが分担して教室へと向かいます。

給食が始まったところのことです。5年生が配膳室から給食を取り、教室へと向かいました。ところが、配膳室からまっすぐに昇降口のある南舎の方向へ歩いていきます。5年生の教室は中舎の3階です。うっかり、4年生の教室へ向かってしまったのです。「方向が違うよ」と合図を送ると、「あ！」と気づいて当番さん同士顔を見合わせて苦笑い。5年生だけではありません。3年生は、給食を取



って中舎の2階、2年教室へ…。「おとっと！」と、南舎方向へ向きを変えて行きました。校舎の位置が変わった学年で毎年見られる、きちんと習慣が身についているからこそその微笑ましい光景です。新学期あるあるの一コマでした。

なお、給食開始から1週間が経ち、当番さんが道に迷うことはもうすっかりなくなりましたのでご安心を。

## 1年生を迎える会

4月12日(水)の児童集会で、1年生を迎える会を催しました。

全校の仲間と1年生の初めて顔合わせです。

初めに、6年生にエスコートされた1年生が全校の前で自己紹介をします。たくさんの仲間の前ですからとても緊張しただろうと思いますが、一生懸命自己紹介しました。自分ではなかなかお



話ができず、エスコート役の6年生が代わりに紹介をした1年生もいたことはご愛嬌です。エスコート役を務めてくれている6年生も、入学した時は今の1年生と同様だったはず。小学校での学びと成長は、それはそれは大きいものです。きっと1年生が6年生になった時には、立派なお兄さんお姉さんになって1年生をやさしくリードしてくれることでしょう。



自己紹介の後は、校歌の紹介です。本当であれば入学式で披露したかったのですが、コロナ禍の入学式では、かないませんでした。あら

ためて、全校で校歌を披露しました。毎年思うのですが、2番の歌詞「緑の緑の筆山が…」の部分は、春爛漫で若葉の萌える今の時期にぴったりです。晴れ晴れとした春の空気を感じます。校歌に描かれた情景が1年生に伝わったと思います。

本年度は、5年生が学校紹介のコーナーを設けてくれました。〇×クイズで学校を紹介しました。クイズの中には「校長先生は男である。〇か×か？」というものがありました。間違える子がいたらショックでしたが、幸いみんな正解してくれたのでほっとしました。



会の終わりは花のアーチで1年生を会場からお見送り。上級生は、「さんぽ」の音楽に合わせて手拍子をしながら、にこやかに、やさしいまなざしで1年生を見守っていました。1年生が学校生活に慣れるまでにはもうしばらくの時間が必要かもしれません。でも、1年生をあたたかく見守る上級生がよいお手本となって1年生を見守ってくれるはず。本会で潮江小学校に255名の仲間がそろいました。1年生から6年生まで、お互いを大切にし合い、みんなでうしおえスマイルを咲かせましょう。

